

収益力の高い持続可能な農業の実現

1

収益力向上に資する生産基盤の整備・保全

農業経営の安定化と収益力の向上を図るために、農地の区画拡大などの生産基盤整備を実施するとともに、意欲ある担い手への農地集積・集約化を推進します。

また、農業生産の環境を整えるための地域のニーズに対応した生産基盤整備も実施し、生産性を高める農業を推進します。

(1) 生産基盤整備による担い手への農地集積・集約化

- 地域と良好な関係性を築きながら、認定農業者、集落営農組織、農業法人及び民間企業等の多様な担い手が、収益性の高い農業経営を展開できる生産基盤整備を推進します。
- 地域計画の実現に向けて、生産基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化を推進します。

目標指標	現状 (R6)	目標 (R12)
生産基盤整備を契機に担い手へ集積する農地面積	505ha	600ha



整備前



整備後

ほ場や用排水路などの生産基盤整備を契機とし、担い手への農地集積・集約化を推進

(写真) 前橋市：上細井中西部地区

(2) スマート農業技術導入等の省力化を図る生産基盤整備の推進

- 大型営農機械やスマート農業技術等の導入を可能とする、農地の大区画化及び情報通信環境などの整備を推進します。
- 営農上の負担となっている、ほ場水管理や草刈り等のほ場周りにおける管理作業の省力化を図るための生産基盤整備を推進します。
- 担い手のニーズや地域状況に応じたスマート農業技術等の導入を促進するための手引きを作成します。

スマート農業技術



自動運転田植機

※「スマート農業をめぐる情勢について(2025年11月)(農林水産省)」から抜粋



ICT 自動給水栓



リモコン草刈機



農業用ドローン

- ロボット、AI（人工知能）、IoT等の情報通信技術を活用し、農作業の効率化、農作業における身体の負担の軽減、農業の経営管理の合理化により農業の生産性を向上させる技術のこと。
- 農地の集約や大区画化により、大型営農機械が効率的に稼働することが可能となり、また、大区画になるにつれて増大するほ場水管理や草刈り等の労力も、この技術の活用により、低減されることが期待できる。

(3) 地域のニーズに対応したきめ細やかな生産基盤整備

- 畦畔除去等による区画拡大、暗渠排水等による水田の汎用化・畑地化及び導入作物に適したかんがい方式への整備など、地域のニーズに応じたきめ細やかな生産基盤整備を推進します。
- 農道橋の耐震化や農道の路面補修・拡幅などの保全整備により、安定した営農環境を確保します。
- 野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、鳥獣被害防止対策を支援します。
- 中山間地域の特性を活かした生産基盤整備を推進します。



TOPICS

農業農村整備における情報化施工

- 情報化施工とは、工事施工において情報通信技術（ICT）を活用し、各プロセスから得られる電子情報をやりとりすることで、高効率・高精度な施工を実現する手法です。
- 従来、丁張り（位置・高さ・勾配を示す目印）を現地に設置していた作業が不要となり、建設機械のモニターで位置などを把握して施工することが可能となります。
- 農業農村整備事業の現場を支える建設業界においても、高齢化や人手不足が進行しており、建設現場の生産性向上が不可欠となっています。
- 今後とも着実に農業農村整備を実施していくために、情報化施工の活用を一層推進していきます。



情報化施工の状況（渋川市：笠張地区）

(用語解説)

- ・ 大区画 : 1区画が50a以上のほ場と定義するもの。
- ・ 大区画化 : 1区画を50a以上の規模に整備すること。
- ・ IoT : Internet of Things（モノのインターネット）の略であり、あらゆる“モノ”に通信機能をもたせ、インターネットにつなげてデータを収集・共有し、自動制御や遠隔操作を可能にする仕組みのこと。
- ・ 水田の汎用化 : 水田において畑作物を栽培できるよう、排水路や暗渠を整備して水はけを良くすること。
- ・ ICT : Information and Communication Technologyの略であり、情報や通信に関する技術の総称のこと。

2

持続可能な農業水利施設の保全管理

将来にわたって農業用水を安定供給するためには、既存の農業水利施設の長寿命化と土地改良区における施設の日常管理に加えて、豪雨、渇水及び突発事故等の緊急時に迅速かつ的確に対応できる管理体制の構築が不可欠です。

このため、老朽化が進む農業水利施設の計画的かつ適切な保全対策を実施するとともに、土地改良区の運営基盤の強化を推進します。

(1) 農業水利施設の長寿命化

- 老朽化が進行する農業水利施設について、計画的な保全対策により、ライフサイクルコストの低減と施設の長寿命化を図ります。
- 末端の農業水利施設について、市町村及び土地改良区と連携し、適切な保全対策を促進します。
- 現行の耐震基準を満たしていない農業水利施設については、耐震点検調査の結果に基づき、地震対策を実施します。
- 農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、管理の省力化・効率化に向けたICTの活用や施設の再編整備に取り組みます。

目標指標	現状 (R6)	目標 (R12)
基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数	26地区	34地区



整備前



整備後

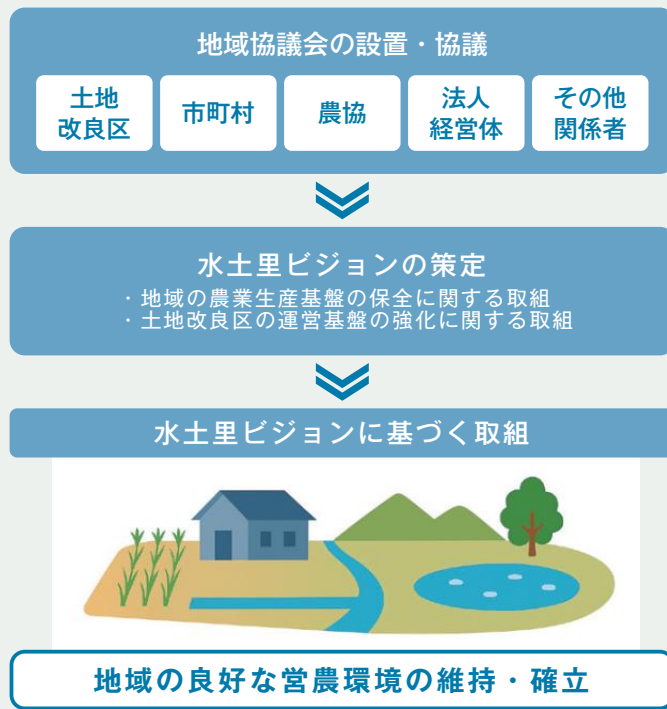
老朽化が進行する農業水利施設の計画的な保全対策（地震対策含む）により、施設の長寿命化と農業用水の安定供給を確保

(写真) 中之条町：美野原3期地区

(2) 土地改良区の運営基盤の強化

- 土地改良区と市町村・地域団体等との連携を強化して、農業水利施設を適切に保全管理するための「連携管理保全計画（水土里ビジョン）」の策定を支援します。
- 土地改良区の経営診断、改善指導、研修等を支援し、将来を見据えた運営基盤の強化を図ります。

連携管理保全計画（水土里ビジョン）



- 連携管理保全計画（水土里ビジョン）とは、地域の農業水利施設等の機能を将来にわたって持続的に発揮させるため、土地改良区が市町村等の関係者と共同して、将来の保全体制を構築する計画のこと。
- 土地改良区と市町村等の関係者で組織される地域協議会での協議を踏まえて策定する。
- 策定した水土里ビジョンによる計画的な取組は、土地改良区の持続的な運営と地域の良好な営農環境の維持・確立に寄与することが期待できる。

TOPICS

世界かんがい施設遺産

- 国際かんがい排水委員会（International Commission on Irrigation and Drainage、以下「ICID」）が、かんがいの歴史や発展を明らかにして人々との理解醸成を図り、かんがい施設の適切な保全に資することを目的として創設された制度です。
- 建設から100年以上経過し、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設のうち、ICIDの審査を通過したものが「世界かんがい施設遺産」に登録されます。
- 本県では現在、①天狗岩用水、②長野堰用水、③雄川堰の3施設が登録されています。



市街地を流れる農業用水（天狗岩用水）



円筒分水工（長野堰用水）



石積水路と桜の風景（雄川堰）

3

強靱化による安全・安心な農村づくり

近年、豪雨や地震などによる自然災害の激甚化・頻発化により、農業用ため池の決壊をはじめとする農業水利施設等への甚大な被害が発生しています。

このため、農業水利施設等における必要な防災減災対策を計画的に講じ、強靱化することで、被害の防止・軽減を図り、安全・安心な農村づくりを推進します。

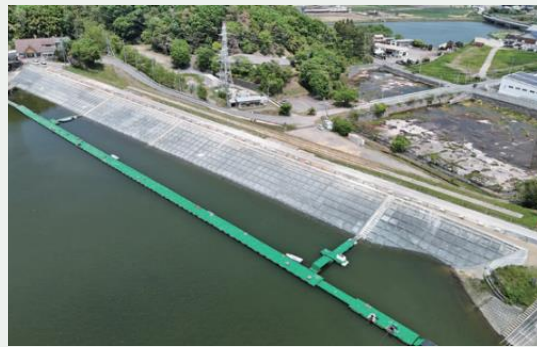
(1) 防災重点農業用ため池の強靱化

- 防災工事が必要と判定された防災重点農業用ため池について、貯水量や下流域への影響などによる優先度の高いため池から計画的に防災工事を実施し、農村の安全・安心を確保します。
- 防災重点農業用ため池の適正な保安全管理が図られるよう、「ため池サポートセンターぐんま」による現地パトロールや、ため池管理者に対して管理方法の助言及び現場技術指導等を行います。

目標指標	現状 (R6)	目標 (R12)
優先度の高い防災重点農業用ため池における防災工事に着手したため池数	34箇所	75箇所



豪雨対策（洪水吐改修）



地震対策（堤体改修）



ため池サポートセンターぐんまによる現地パトロール

豪雨・地震対策などの防災工事等を進め、防災重点農業用ため池の強靱化を推進

(写真上段左) 桐生市：下沼 (写真上段右) 藤岡市：大谷池
(写真下段) みなかみ町：川上

(用語解説)

・ため池サポートセンターぐんま：県内の防災重点農業用ため池の適正な保安全管理を支援するために令和4年度に設置された専門窓口。ため池管理者からの相談対応、現地パトロール、技術研修などを実施し、ため池の適正管理と防災力向上を支援する。

(2) 農村地域の防災減災対策

- 農村地域における湛水被害を未然に防止するため、老朽化や機能低下した排水施設の機能回復・向上に加え、新たな排水施設の整備を実施します。
- 豪雨などによる自然災害や突発事故により損壊した農地・農業水利施設については、管理者と連携して迅速な機能回復を図ります。
- 地すべり防止区域においては、官民連携による監視体制を構築・強化するとともに、適切に地すべり対策や地すべり防止施設の長寿命化を図ります。
- 石綿セメント管が使用されている農業用管水路については、硬質塩化ビニル管等へ更新し、破損による地域住民の健康被害を未然に防止します。



石綿（アスベスト）を含む農業用管水路を撤去し、硬質塩化ビニル管等へ更新

(写真) 前橋市：富士見地区

TOPICS

国土調査(地籍調査)と災害復旧の関係

- 地籍調査の実施により、土地に関する情報（境界、面積等）が正確なものに改められ、その情報を基に土地の境界を現地に復元することが可能となります。
- 土地取引の円滑化はもとより、災害発生時における早期の復旧・復興、社会資本整備・まちづくりの効率化などの様々な効果が創出されます。
- 令和7年度9月の豪雨災害において、農地被災が確認された地域のうち、地籍調査実施済みの箇所では、地権者との立会いや境界確認が円滑に行われ、早期の復旧工事着手が可能となりました。



地籍調査の立会状況

4

農村の多面的機能と生活環境の保安全管理

農村における人口減少などの進行により、地域の共同活動や農業生産活動等の継続が困難となり、農業・農村が有する多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、将来にわたって多面的機能を適切に維持・発揮できるよう、地域活動の継続への支援や地域資源の保安全管理を推進します。

また、農村の生活環境の保安全管理にも取り組み、暮らしやすい環境づくりを推進します。

(1) 多面的機能の維持・発揮と地域資源の保全

- 農業生産活動の維持、農業・農村の振興、地域の活性化を図るため、地域住民を含めた地域コミュニティによる農地・農業用施設の適切な保安全管理を推進します。
- 景観形成や遊休農地の有効活用等、地域資源の質的向上を図る共同活動及び施設の長寿命化のための取組を支援します。
- 活動組織の体制強化に向けて、活動組織の広域化や事務負担の軽減に取り組むとともに、外部団体等とのマッチングを支援します。

目標指標	現状 (R6)	目標 (R12)
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	19,501ha	22,600ha



農地周りの草刈り



施設の管理・点検



水路清掃



植栽による景観形成



農業体験

地域住民を含めた地域コミュニティによる
農地・農業用施設の適切な保安全管理を推進し、多面的機能の維持・発揮へ

(写真上段左) 明和町：明和地域広域協定運営委員会 (写真上段中) 藤岡市：下栗須地域環境保全協議会 (写真上段右) 川場村：川場湯原環境整備委員会
(写真下段左) 嬭恋村：大笹環境活動の会 (写真下段右) 渋川市：八崎第三地区環境保全協議会

(2) 農村生活環境の保全管理

- 農村地域の生活環境の維持・向上を担う農業集落排水施設について、最適整備構想に基づく計画的な保全対策や維持管理適正化計画を踏まえた施設の再編、省エネルギー技術の導入等を支援し、各施設の持続的・効率的な管理運営を推進します。



隣接地区との再編が計画されている農業集落排水施設

(写真) 前橋市：新屋地区

TOPICS

多面的機能支払交付金における人材のマッチングサイト

- 人口減少や高齢化により、地域の共同活動への参加者の減少や事務処理の人員確保が困難となり、農業・農村が有する多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。
- 地域の共同活動を継続していくためには、非農業者や非農業団体などの人材を呼び込むことが重要です。
- この有効な手段として「マッチングサイト」の構築が挙げられ、活動への参画についてホームページ等で公開することにより、草刈り作業などを行う人材を希望する活動組織と、この活動を希望する人材のマッチングを推進できるようになり、活動組織が抱える課題の解消が図れます。
- 本県では、「群馬県水土里保全協議会」のホームページ内にマッチングサイトの開設準備を進めており、令和8年度中の運営開始を予定しています。



(用語解説)

- 農業集落排水施設：市町村の区域の一部において、農業上形成されている農業集落からのし尿、生活雑排水または雨水を処理する施設のこと。
- 最適整備構想：農業集落排水施設等における長寿命化やライフサイクルコストの最小化などを目的として策定される計画のこと。